I-O DATA

M-MANU201662-01

取　扱　説　明　書

無線LAN子機
WHG-AC433UM

レシートや納品書を保管してください
修理の際に、お買い上げ日を証明するために必要です。

本製品は動作時に高温になる場合があります
これは、製品設計上の仕様によるもので、故障ではなく安全面でも問題はありません。
ただし、長時間にわたり本製品に触れ続けると低温やけどを起こす恐れがあります。
取り外しの際は、パソコンの電源を落とし、しばらく経ってから取り外してください。
端子部分が熱くなります。取り外しの際にはご注意ください。

事前にご確認ください

- 本製品をインストールする前に、アクセスポイントを設置しておいてください。(アクセスポイントの取扱説明書参照)
- 本製品は5GHz帯のみに対応した無線LAN子機です。ご利用のアクセスポイント(親機)が5GHz帯に対応していることをご確認ください。
- 本製品は、パソコンのUSBポートに直接挿してください(USBハブ、増設のUSBポートではお使いいただけません)。
- 他の無線LANユーティリティがインストールされている場合は、事前にアンインストールしておいてください。

まだ本製品を挿さないでください

ドライバーのインストール操作途中で本製品を挿します(Step1 手順3)。先に本製品を挿してしまった場合は、本製品を抜き、Step1を最初からやり直してください。

内容物
・本体　・サポートソフトCD-ROM　・取扱説明書(本書)

初期設定

Step1 ドライバーをインストールする

大量導入に便利なツールのご案内(キッティングツール)
設定ファイル(ini、xml)を編集して、同じ内容を複数端末に設定できます。
詳しくは、サポートソフト内の「makeinstallpkg.pdf」をご覧ください。

1 添付のサポートソフトCD-ROMをセット

CD-ROMドライブがない場合はダウンロードして実行してください
http://www.iodata.jp/p/160782

自動再生の画面が表示された場合
画面にしたがい、[AUTORUN.EXEの実行]をクリックします。

2 

[ドライバーインストール]を**クリック**

メニュー画面が表示されない場合
[コンピューター]を開き、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合
[はい]をクリックしてください。

3 
「無線LANアダプターを…取り付けてください。」の画面が表示されたら、本製品をパソコンに **挿す**
⇒ インストールが完了するまで、そのまま待ちます。

4 「Windowsを再起動します。」と表示されたら、[OK]をクリック
⇒ パソコンが自動的に再起動します。

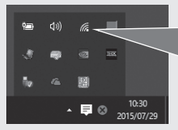
以上でインストールは完了です。
下記「Step2 アクセスポイントとつなぐ」へお進みください。

Step2 アクセスポイントとつなぐ

IEEE802.1X認証を利用するには、「画面で見るマニュアル」をご覧ください
IEEE802.1X認証を利用するには、アクセスポイントとつなぐ前にセキュリティの設定が必要です。
画面で見るマニュアルは、サポートソフトからご覧ください。

パソコン内蔵の無線LANアダプターがあると接続できない場合があります
その場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワーク接続]を開き、パソコン内蔵の無線LANアダプターを無効にしてください。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。)

1 **(Windows 8のみ)**マウスを画面の右上隅にかざしてチャームバーを表示し、[設定] ⚙ をクリック

2 

画面右下の無線アイコンを **クリック**
or 利用可能 or
(画面例:Windows 10)

3 

① 接続するアクセスポイントのSSIDを**選択**
② [接続]を**クリック**

4 

① アクセスポイントの暗号キーを **入力**
② [次へ]または[OK]を**クリック**

「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」などのメッセージが表示された場合

「WPS」でも接続できます。
詳しくはネットワークの管理者にご確認ください。



11acで接続しているのに、Windows上のワイヤレスネットワークで11nと表示される場合



ご利用環境の影響により11nと表示されますが、問題ありません。

「接続済み」または「接続」と表示されたら、以上で設定は完了です。インターネットをご利用いただけます。

困ったときには

Q.ドライバーインストール前に、挿してしまった

A1 ① 本製品をパソコンから取り外します。
② 本紙表面【Step1 ドライバーをインストールする】を参照し、インストールしてください。

Q.アクセスポイントとつながらない

A1 アクセスポイントのWPSボタンを押してもつながらない場合は、[セキュリティキー]にアクセスポイントの暗号キーを入力してください。

A2 本製品とアクセスポイントの距離を近づけてみてください。

A3 ① 本製品の情報を削除します。
(下記【本製品を削除する】参照)
② 本製品を一旦取り外します。
③ 本紙表面【Step1 ドライバーをインストールする】を参照し、ドライバーをインストールします。
④ 本紙表面【Step2 アクセスポイントとつなぐ】を参照し、アクセスポイントとつなぎます。

Q.アクセスポイントがみつからない

A1 しばらく待ってから、再検索をしてください。

A2 本製品とアクセスポイントの距離を近づけてみてください。

A3 お使いのアクセスポイントがSSIDを通知しない設定になってないか確認してください。通知しない設定になって
いる場合は、手動でSSID、暗号キーを入力しアクセスポイントとの接続設定をおこなってください。

Q.SSID非通知のアクセスポイントと自動的につなぎたい
Q.使わなくなった接続情報を消したい

A1 接続のための情報を「プロファイル」と呼びます。
このプロファイルは、「Windows無線LANプロファイル削除ツール」で変更・削除できます。
■サポートソフトCD-ROMから起動する
「PFLRMVR」フォルダー内にある
「IOWLSvckick.exe」を起動してください。
■Webから入手する
http://www.iodata.jp/r/4867

Windows起動中の本製品の取り外し方

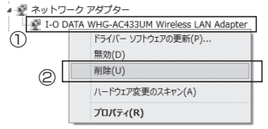


本製品を削除する

1 デバイスマネージャーを開く

2 [I-O DATA WHG…]を削除する
① [ネットワークアダプター]→[I-O DATA WHG…]を右クリック
② [削除]をクリック
③ [このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する]にチェック
④ [OK]をクリック

3 本製品を取り外す





安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

禁止	指示を守る	注意

⚠ 警告

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因となります。

本製品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の近くで使用しない
ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の動作に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

本製品は動作時に高温になる場合があります
これは、製品設計上の仕様によるもので、故障ではなく安全面でも問題はありません。
ただし、長時間にわたり本製品に触れ続けると低温やけどを起こす恐れがあります。
取り外しの際は、パソコンの電源を落とし、しばらく経ってから取り外してください。

使用上のご注意

■ 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
　○ベースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器
　○工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
　○特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
　上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
　そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
■ 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
　本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。
■ 本製品は、屋外で使用しないでください。法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。5GHz帯のW56(100～140ch)は法令により屋外での使用が可能ですが、無線LANルーターの仕様によっては、無線LANルーターがレーダー波を検知した場合に、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。
■ 5GHz帯で使用するチャネルはW52(36,40,44,48ch)とW53(52,56,60,64ch)とW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)です。J52(34,38,42,46ch)の装置との通信はできません。
■ W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
　・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
　・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
■ 本製品は、無線LANをご利用になるパソコンに装着します。パソコン以外の機器でのご利用で生じた損害・トラブルに関しては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■ 本製品のインストールをする前に、アクセスポイントの設定をおこない、有線LAN接続でインターネットに接続できることを確認しておいてください。
■ 省電力モード(スタンバイ、レジューム、ハイバネーション)には対応しておりません。
■ 本製品をパソコンへ2台以上接続しての使用には対応しません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　・メールの内容
　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
　　・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
　　・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
　　・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN子機や無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN子機や無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **3年間** 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象となりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

重要
●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから6年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、6年以前に各対応を終了する場合があります。
●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(http://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

保証期間 3年間

お問い合わせ方法

弊社サポートページにて、**以下をご確認ください**

▼弊社サポートページ
http://www.iodata.jp/support/
● 「Q&A よくあるご質問」を参照

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話 ▶ **050-3116-3025**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

インターネット ▶ **http://www.iodata.jp/support/**

※ご用意いただく情報
　▷製品情報(製品名、シリアル番号など)、PCや接続機器の情報(型番、OSなど)

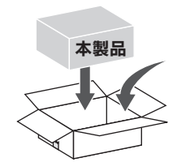
アイオー・セーフティ・サービスのご案内
対象製品を安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
□保守サービスの対応表
　詳しくは、弊社ホームページをご参照ください。
　http://www.iodata.jp/iss

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

修理を依頼する方法

以下を**梱包**し、**修理センター**へ**お送りください**



レシート、納品書
など**購入日**を示すもの

＋

メモ
・名前 ・住所 ・TEL/FAX番号
・メールアドレス ・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

http://www.iodata.jp/support/after/

【ユーザー登録はこちら】…**https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例:ABC1234567ZX)

【商標について】
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【使用ソフトウェアについて】
本製品は、GNU General Public License Version2.June 1991に基づいたソフトウェアが含まれています。変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。